

大同特殊鋼 名演奏家シリーズ 2022



上野 通明 チェロ・リサイタル ピアノ：北村朋幹

2021年「ジュネーヴ国際コンクール」チェロ部門で日本人初優勝の栄冠に輝いたパラグアイ生まれ・26歳、期待の俊英による名古屋初リサイタル！
ピアノは愛知県出身の若き名匠・北村朋幹という豪華デュオが実現。

9/29(木) 18:45開演 三井住友海上しらかわホール

曲目／ブリテン：チェロ・ソナタ 長調Op.65、シューマン：5つの民謡風小品Op.102
ドビュッシー：チェロ・ソナタ 二短調、ベートーヴェン：チェロ・ソナタ第3番 長調Op.69

入場料 **S席 ¥5,000 A席 ¥4,000** (全席指定・税込) Pコード 216-221 Lコード 41031



©TAKA MAYUMI
ピアノ：北村朋幹

亀井 聖矢 ピアノ・リサイタル

著しい成長が見逃せない！世界へはばたく、愛知県出身・将来を囑望された20歳の俊英が
昨年に続き、今年も“名演奏家”のステージへ登場！

10/27(木) 18:45開演 三井住友海上しらかわホール

曲目／ショパン：ピアノ・ソナタ第2番 変ロ短調Op.35「葬送」他

入場料 **S席 ¥4,000 A席 ¥3,000** (全席指定・税込) Pコード 216-222 Lコード 41032



©Taira date

徳永兄弟 フラメンコギター・デュオリサイタル

中学卒業後、弱冠15歳でスペインへ渡った徳永兄弟。
繊細で情熱的な若手フラメンコ界No.1の逸材による、名古屋初のリサイタル！

11/30(水) 18:45開演 電気文化会館 **ザコンサートホール**

曲目／コーヒールンバ、Viajero del Alma魂の旅人(徳永兄弟)、SPAIN(チック・コリア)、赤とんぼ／フラメンコバージョン(徳永兄弟編) 他

入場料 **¥3,500** (全席指定・税込) Pコード 216-225 Lコード 41033



©Toshinori Iida



DOS DEL FIDDLES with 山中惇史

石田泰尚&崎谷直人による、最強のヴァイオリン・ユニットが名古屋初上陸！！
編曲&ピアノは、岡崎市出身の山中惇史！

12/18(日) 15:00開演 三井住友海上しらかわホール

曲目／ジャマイカン・ルンバ(ベンジャミン/山中惇史編)、金髪のジェニー(フォスター/山中惇史編)
ハンガリー舞曲 第5番(ブラームス/山中惇史編)、晴れのちケルト(山中惇史)

入場料 **S席 ¥5,500 A席 ¥4,500** (全席指定・税込) Pコード 216-231 Lコード 41034



©Takafumi Ueno
ピアノ：山中惇史

感染症予防対策について 「名演奏家シリーズ2022」公式ホームページ(<https://hicbc.com/event/series2022/>)を必ずご覧ください。



5月26日(木) 10:00～ 一般発売開始

先行発売(WEBのみ) 5月11日(水)10:00～5月17日(火)23:59

◎チケットのお取扱い

【アイ・チケット】 ☎0570-00-5310 [アイ・チケット web](https://t.pia.jp/)
【チケットぴあ】 <https://t.pia.jp/> 【イープラス】 <https://eplus.jp/>
【ローソンチケット】 <https://l-tike.com/> 【芸文プレイガイド】 ☎052-972-0430
【しらかわホール】 ☎052-222-7117(9/29、10/27、12/18公演)

※感染症拡大状況により公演が延期または中止になる場合がございます。※やむを得ない事情で公演内容、出演者など変更になる場合がございます。※未就学児のご入場は、ご同伴の場合でもお断りいたします。※車いすにてご来場のお客様は、チケット付き鞆の方の分も含めお問い合わせください。お問い合わせ後、CBCテレビ事業部052-241-8118(平日10時～18時)まで事前にお電話ください。

お得な4公演通し券

◆アイ・チケット

(☎0570-00-5310)

個別券合計18,000円→

16,000円

(全席指定・税込)

主催 **CBCテレビ** <https://hicbc.com/>

協賛 **大同特殊鋼** <https://www.daido.co.jp/>

共催 電気文化会館(中電不動産株式会社)※11/30公演のみ

協力 **クラシック名古屋 CBCラジオ**

お問合せ **CBCテレビ** 事業部

☎(052)241-8118 (平日10時～18時)

上野通明 (チェロ)

Michiaki Ueno, cello

2021年ジュネーヴ国際音楽コンクールチェロ部門日本人初の優勝、併せて三つの特別賞受賞。第6回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクール、第6回ルーマニア国際音楽コンクール、第21回ヨハネス・ブラームス国際コンクール優勝。これまでにワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団、ロシア交響楽団、スイス・ロマン管弦楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団等国内外の主要オーケストラと共演。ジャン＝ギャン・ケラス、ダニエル・ゼベック等、著名な海外アーティストとも多数共演し好評を博す。岩谷時子賞奨励賞、青山音楽賞新人賞、第31回出光音楽賞受賞。文化庁長官国際芸術部門表彰を受賞。桐朋学園音楽大学SDコースで毛利伯郎に師事し、P.ウィスベルウェイに招かれ19歳で渡独。現在エリザベート王妃音楽院にてゲーリー・ホフマンにも師事。主にヨーロッパと日本で積極的に演奏活動を行なっている。使用楽器は1758年製P.A. Testore(宗次コレクション)、弓は匿名のコレクターよりF. Tourteを貸与されている。

北村朋幹 (ピアノ)

Tomoki Kitamura, piano

1991年愛知県生まれ。3歳よりピアノを始め、浜松国際ピアノコンクール第3位、シドニー国際ピアノコンクール第5位ならびに3つの特別賞、リーズ国際ピアノコンクール第5位、ボン・テレコム・ベーターヴェン国際ピアノコンクール第2位など受賞。2005年、第3回東京音楽コンクールにおいて第1位(2位なし)ならびに審査員大賞(全部門共通)受賞。以来日本国内、ドイツをはじめとするヨーロッパ各地で、オーケストラの定期演奏会への出演、ソロリサイタル、室内楽、また古楽器による演奏活動を定期的に行っている。録音は5枚のソロアルバムをフォンテックよりリリース。「ケージ プリバード・ピアノのためのソナタとインターリュード」は、令和3年度文化庁芸術祭賞レコード部門 優秀賞受賞。愛知県立明和高等学校音楽科を経て東京藝術大学に入学、2011年よりベルリン芸術大学ピアノ科で学び最優秀の成績で卒業。これまでに伊藤恵、エヴァ・ポプウヅカ、ライナー・ベッカー各氏に師事。現在はフランクフルト音楽・舞台芸術大学に於いてイエスパー・クリステンセン氏のもと、歴史的奏法の研究に取り組んでいる。



©Anne Laure-Lechat



©TAKA MAYUMI

亀井聖矢 (ピアノ)

Masaya Kamei, Piano

2001年生まれ。4歳よりピアノを始める。2019年、第88回日本音楽コンクールピアノ部門第1位、及び聴衆賞受賞。同年、第43回ビティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、及び聴衆賞受賞。2022年、マリア・カナルス国際ピアノコンクール(スペイン)第3位受賞。これまでに、飯守泰次郎、井上道義、海老原光、太田弦、大友直人、川瀬賢太郎、佐藤俊太郎、松井慶太、山下一史、渡邊一正の各氏の指揮で、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、セントラル愛知交響楽団、千葉交響楽団、東京21世紀管弦楽団等と共演。月刊ピアノにて「亀井聖矢の謎解きサロン」を連載中。これまでに、青木真由子、杉浦日出夫、上野久子、岡本美智子、長谷正一の各氏に師事。Bruno Leonardo Gelber、Maria Joao Pires、Rena Shereshevskaya、Jean-Marc Luisada、Dina Yoffeの各氏のレッスンを受講。愛知県立明和高等学校音楽科を経て、飛び入学特待生として桐朋学園大学に入学。現在、桐朋学園大学4年在学中。第9回福田靖子賞、第6回アリオン桐朋音楽賞受賞。2021年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。2022年度公益財団法人江副記念リクルート財団奨学生。



©T.Tairadate

徳永健太郎、徳永康次郎

Kentaro Tokunaga, Kojiro Tokunaga

健太郎(左):1991年新潟生まれ、康次郎(右):1993年新潟生まれ。

幼少期より父 徳永武昭のもとフラメンコギターを始める。中学卒業後スペインへ渡りセビージャのクリスティーナヘレンフラメンコ芸術学院に入学。3年間で全課程修了しその後同学院の講師として数年間在籍。日本フラメンコ協会新人公演奨励賞ギター部門を兄弟共に2年連続受賞。兄はスペインのセビージャにてCERTAMEN ANDALUZ FLAMENCOS アンダルシアフラメンコギターコンクール準優勝。弟は2019年にスペインのバルセロナでの国際コンクールで決勝進出し4位に入賞。その他国内外で様々な受賞歴を持つ。その後「100年に一度の原石」と称される日本とスペインを行き来し様々な舞台にて活躍し現在に至る。2017年アニメ「アルスラーン戦記」の主題歌、藍井エイルの「翼」にフラメンコギターで参加。2019年3rdアルバム「Resonancia〜共鳴〜」がiTunes Storeにて「ワールドトップアルバム・スペイン・第2位」にチャートイン。2020年6月兄健太郎がドラマ「ハケンの品格」のサウンドトラックに参加。2020年NHK「旅するためのスペイン語」のオープニングテーマを担当。この他、様々なテレビ番組に出演する。2014年〜2018年の間に3枚のアルバムをリリース。2020年4枚目のベストアルバム『Guitarra Flamenca』をリリース。



©Toshinori Iida

石田泰尚 (ヴァイオリン)

Yasunao Ishida, Violin

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団を経て、2001年より神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。これまでに神奈川文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。自身がプロデュースした男性奏者のみの弦楽アンサンブル「石田組」、新しいスタイルのピアノを追求した「トリオリベルタ」、ピアニスト及川浩治の呼びかけで結成されたピアノトリオ「Bee」、CoolなメンバーによるHotなステージの「Super Trio3」Cなど、様々なユニットでも独特の輝きを見せる。使用楽器は1690年製G.Tononi。1726年製M.Goffriller。



崎谷直人 (ヴァイオリン)

Naoto Sakiya, Violin

ケルン音大、パリ音楽院、桐朋学園ソリストディプロマを経て、バーゼル音楽院修了。ノボシビルスク国際コンクール1位、メニューン国際コンクール3位。2006年ウェールズ弦楽四重奏団を結成。08年ミュンヘンARD国際コンクール弦楽四重奏部門、11年大阪国際室内楽コンクール各3位。日本センチュリー交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、NHK交響楽団ほか国内主要オーケストラに客演コンサートマスターとして多数出演。ウェールズ弦楽四重奏団第一ヴァイオリン奏者。



©Takafumi Ueno

山中惇史 (ピアノ、作曲・編曲)

Atsushi Yamanaka, piano

東京藝術大学音楽学部作曲科を経て同大学音楽研究科修士課程作曲専攻修了。後に同大学器楽専攻ピアノ科卒業。第26回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位受賞。器楽、室内楽、合唱など多数がヤマハミュージックメディア、カワイ出版などから出版されている。またピアニストとしては2018年にリサイタル・デビュー。共演者としても絶大な信頼を置かれ、国内外の著名なアーティストと共演を重ねる。ピアニスト、作曲家、アレンジャーとして参加した各CDはレコード芸術誌にて特選盤、準特選盤に選出されている。東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団など多数のオーケストラとの共演、作品が演奏されている。最新アルバムは「ジョン・ウィリアムズ・ピアノコレクション」。